

教育・歴史文化の輝く健康長寿村

大宜味村第5次総合計画

2016 ▶ 2025

【概要版】



沖縄県大宜味村

“教育・歴史文化の輝く健康長寿村”を目指して



大宜味村長
宮城 功光

これまで本村においては、第1次から第4次にわたる総合計画に基づいた諸施策を展開し、各種住民サービスの向上、生活環境や産業基盤の整備を図ることで、豊かで住みよい村づくりを目指してまいりました。

しかし、その間にも世界的な金融危機に端を発した景気の後退や全国的な少子高齢化社会の到来と人口の減少など、社会・経済情勢や住民ニーズも大きく変化しており、本村においてもこのような状況に的確に対応していくことが求められています。

そこで、本村が今後新たな時代に対応していくための指針として、このたび大宜味村第5次総合計画を策定しました。計画策定にあたっては、住民アンケートの結果、意見交換会や総合計画審議会のご意見などを参考にしております。

将来像に掲げた「教育・歴史文化の輝く健康長寿村」の実現に向け、住民と行政が力をあわせて協働の取り組みをすすめて、住民一人ひとりが主役になれるむらづくりに取り組んでいきたいと思っております。

むすびに、本計画の策定にあたりご尽力を賜りました総合計画審議会委員や住民意見交換会に参加頂いた皆様、また、住民アンケートなどにより貴重なご意見・ご協力を頂きました住民の皆様に心から感謝申し上げます。

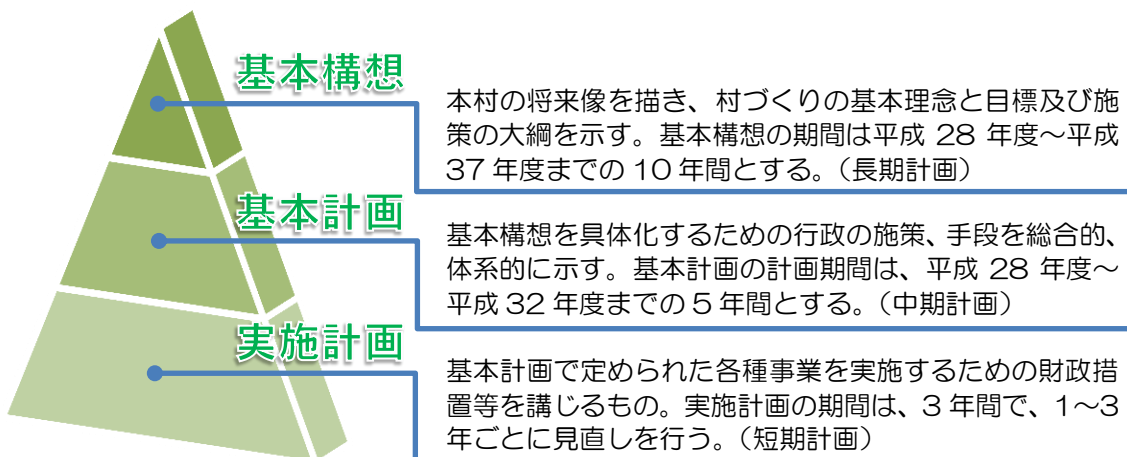
平成28年6月

はじめに

○総合計画の目的

本計画は、村民と行政にとって、村づくりを進める指針となるもので、今後10年間の目指すべき基本方針を定めたものです。

○総合計画の構成



これまでの総合計画

計画期間 (年度)	将来像・基本目標	人口 目標	計画期間内に実施 した主な事業
第1次 S54(1979) ～S61(1986)	○豊かで住みよく明るく健康で、文化的な村づくり	なし	○大宜味中学校（統合）整備 ○村営簡易水道整備 ○農村環境改善センター整備 ○村立芭蕉布会館整備 ○塩屋漁港改修工事
第2次 S63(1988) ～H7(1995)	○豊かで住みよく明るく健康で、文化的な村づくり	4,200 人	○農村総合整備モデル事業 ○高齢者等活性化センター整備 ○村立歯科診療所整備（塩屋漁港） ○学校給食センター整備（饒波）
第3次 H8(1996) ～H17(2005)	○豊かで住みよい村づくり ○明るく健康な村づくり ○文化的な村づくり	4,200 人	○塩屋湾外海公有水面埋立事業 ○特産品加工施設整備 ○畑地かんがい整備 ○江洲定住分譲地整備 ○公営住宅整備（大宜味・田嘉里等） ○地域情報基盤整備事業 ○小学校・中学校改築 ○水源基金事業（公民館・共同売店・農村公園・集落排水・集落道等整備）
第4次 H18(2006) ～H27(2015)	○健康長寿のいきいき輝く文化の村 ・豊かで住みよい村づくり ・健康ユイマールの村づくり ・心豊かな文化の薫り高い村づくり ・安心、安全な村づくり	4,200 人	○公営住宅整備（田嘉里第2・喜如嘉・マーランガー・結の浜） ○道路の整備（押川線・海染江洲原線・結の浜線等） ○北部広域ネットワーク整備（インターネット環境の整備） ○村立診療所整備（結の浜） ○浄化センター整備 ○結の浜分譲地整備 ○企業支援施設整備 ○結の浜公園整備 ○ター滝駐車場整備 ○小学校統合・中学校移転整備
第5次 H28(2016) ～H37(2025)	○教育・歴史文化の輝く健康長寿村 ・豊かな自然が生み出す活力ある村づくり ・健康長寿と子育て・弱者を支える「結」の村づくり ・歴史に学び人を育む文化の村づくり ・安全・安心な住みよい村づくり	3,200 人	/

1 本村の特性と課題

生かすべき特性

- 自然環境に恵まれ、美しい景観がある。
- 元気な高齢者が多く、長寿である。
- 伝統行事や新しいイベント、史跡など文化資源がある。
- 住民同士のつながり、支え合いがある。

発展への課題

- 豊かな自然環境の保全と新たな産業の振興
- 子育て環境や児童福祉の充実
- 県境長寿の維持
- 過疎対策

2 将来像

教育・歴史文化の輝く健康長寿村

本村のキーワードの筆頭である「長寿の里」については、内外に広く知られており本村のイメージとしてすっかり定着している。しかしながら、人口減少や過疎化は自治体の存立に関わる重大な課題であり、将来の長寿を支える次世代の人口の維持を図る必要がある。

また、現代的な生活を求め人口の転出傾向がある実態に対し、必要最低限の生活利便性の水準は確保しつつ、物質的豊かさではない“心豊かに暮らせる村”を目指すべきである。その拠り所となるのは、都市には無い自然資源と、先人たちがこの地で創り上げてきた歴史文化である。そして、この歴史文化を受け継ぎ発展させていく将来の世代を育てることも重要である。

以上から、先に見た今日の本村の現状と課題を踏まえ、第4次総合計画の基本理念を踏襲しつつ、将来像を「教育・歴史文化の輝く健康長寿村」とする。

3 施策の基本目標

○豊かな自然が生み出す活力ある村づくり【産業の振興】

本村の特性や資源を活かした産業を振興し、活力ある村づくりを目指す。

○健康長寿と子育て・弱者を支える「結」の村づくり【保健・福祉の充実】

子どもからお年寄りまで、互いに支え合い健やかに暮らせる地域社会の形成を目指す。

○歴史に学び人を育む文化の村づくり【教育・文化の振興】

歴史の中で培った文化と伝統を継承し、新たな文化と人材を育む村づくりを目指す。

○安全・安心な住みよい村づくり【生活環境の整備】

安全・安心を確保し、あらゆる世代が快適な生活を送ることができる村づくりを目指す。

4 目標年度

【基本構想】

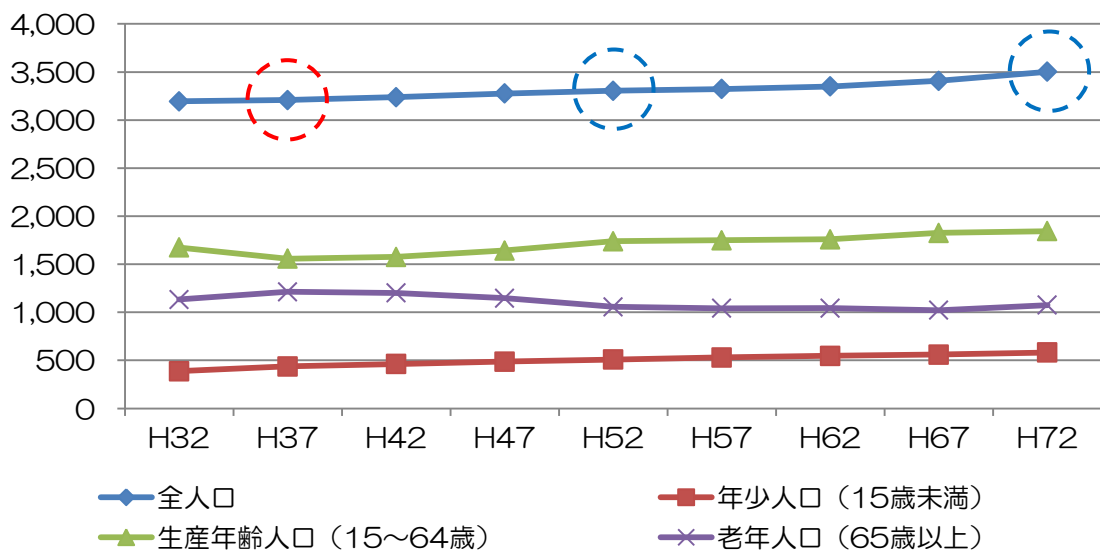
大宜味村第5次総合計画・基本構想は、平成28(2016)年度を初年度とし、平成37(2025)年度までの10年間を計画の目標年度とする。

【前期基本計画】

大宜味村第5次総合計画の期間(10年間)の内、前期5カ年で、初年度は平成28(2015)年度、目標年度は平成32(2020)年度である。

5 目標人口

目標人口の設定にあたっては、国のまち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」及び「総合戦略」を受けて、平成27年度に策定した「大宜味村まち・ひと・しごと創生総合戦略」の将来推計人口を参考に、平成37(2025)年度時点の人口3,200人を目標人口として設定する。



6 重点施策

本村の将来像「教育・歴史文化の輝く健康長寿村」を実現していくため、今後10年間に
いて重点的に推進する事業を3つの施策を掲げる。

1 未来を担う人財の育成「人材を以って資源と為す」

本村には「人材を以って資源と為す」という村是があり、これまで各分野で活躍する人材を輩出してきた。将来を担う子ども達の人材育成は本村の重要課題であり、子供一人ひとりの、意欲を育て、個性を尊重し、健康増進に努めるとともに、時代変化へ柔軟に対応でき、先見性に富み、生涯を通じて学び続ける資質や能力の育成が求められている。

そこで、本村においては、幼児児童生徒における人材育成はもとより、生涯学習、歴史・文化における人材育成、伝統工芸における後継者の育成など、産業・経済等各分野においても活躍し、村民一人ひとりが大宜味村を支える人財育成に取り組む。



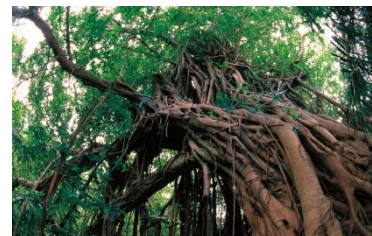
2 公有財産の活用による産業の活性化

結の浜地区の継続的な整備をはじめ、旧大宜味分遣所や旧大宜味村立診療所などの公共施設跡地や4小学校の統合移転・中学校移転により発生した学校跡地の有効かつ効果的な利活用を図る。また、活用にあたっては、民間活用も検討し、産業の活性化による村民所得の向上と安定した雇用の創出、定住人口の増加を目指す。

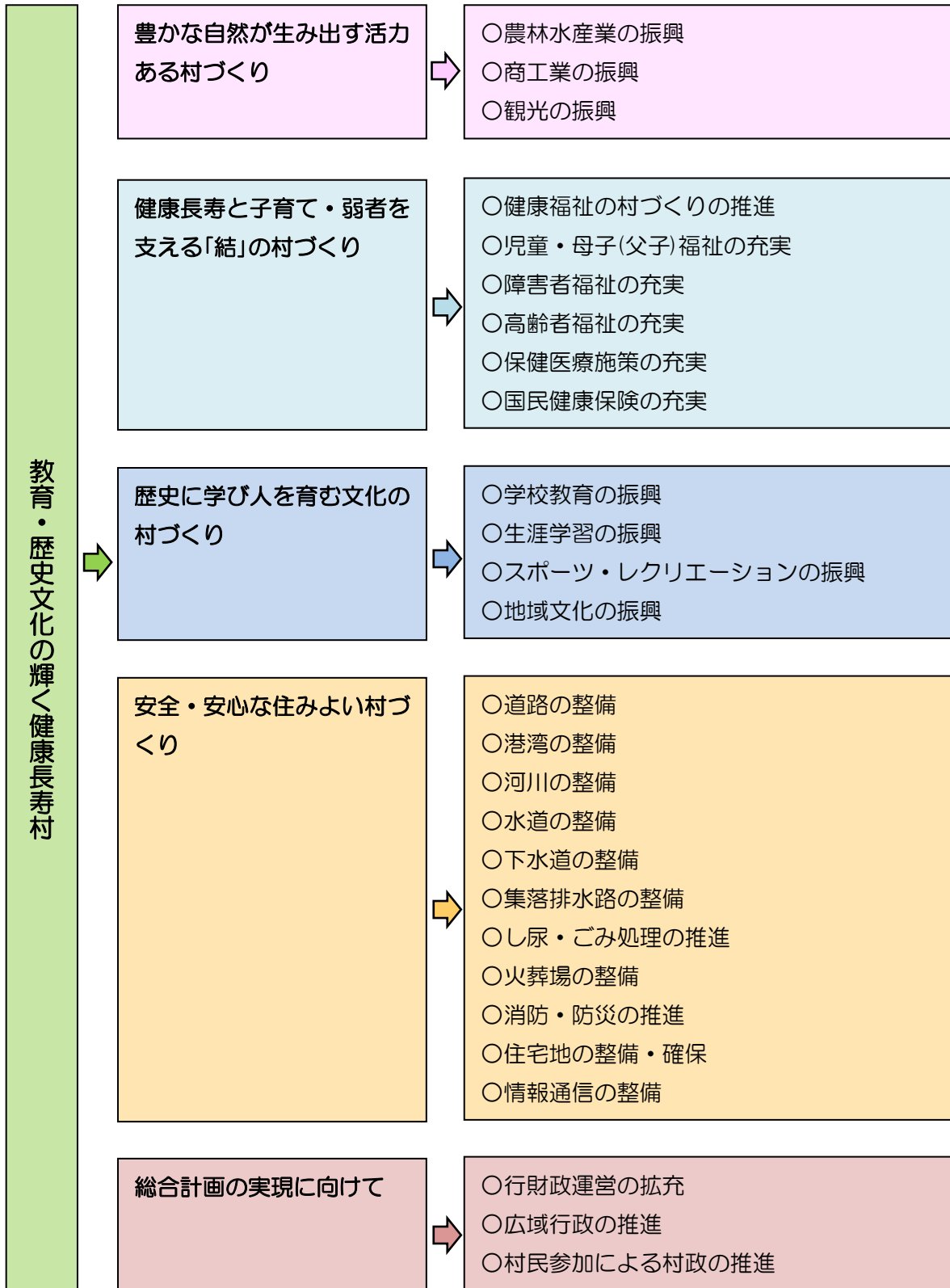


3 地域資源を活かした滞在型観光の推進

本村の自然を含む「奄美・琉球」が自然遺産として我が国の世界遺産暫定リストへ記載されることが決定しており、今後、さらなる村の山々とこれらを囲む地域の自然の保全・活用が期待されている。世界自然遺産登録に向け、貴重な自然を保全・継承していくための取組みを実施していくとともに、長寿と癒しの森整備計画を踏襲しつつ、豊かな自然環境を活かした観光拠点の整備を推進していく。



また、本村には国の重要無形文化財であり、沖縄を代表する伝統工芸品である「喜如嘉の芭蕉布」や文化資源である「根謝銘グスク」などがあり、これらの貴重な地域資源を活用し、「大宜味型体験滞在観光」の振興を図る。



8 前期基本計画（個別政策）

豊かな自然が生み出す活力ある村づくり

施策1 農林水産業の振興

農業の振興（生産基盤の整備、時代に対応可能な農業の展開、遊休地や人的資源の活用）

畜産業の振興（経営の安定化促進、時代に対応した畜産の振興）

林業の振興（公益機能の充実、森林レクリエーション需要への対応、生産活動の充実）

水産業の振興（採取漁業の近代化、体験型観光の推進、養殖漁業の拡充、漁業環境の保全、組織強化）

施策2 商工業の振興

商業の振興（経営基盤の強化、商業拠点施設の整備）

工業の振興（既存製造業の育成・強化、工芸村づくりの推進、新規産業の立地促進）

施策3 観光の振興

観光推進体制の構築、観光基盤施設の整備、観光資源の開発、環境保全型観光の推進

健康長寿と子育て・弱者を支える「結」の村づくり

施策1 健康福祉の村づくりの推進

健康づくりの推進、ユイマールコミュニティの形成

施策2 児童・母子(父子)福祉の充実

児童福祉の充実（子育てネットワークの形成、各種制度の活用促進）

母子・父子福祉の充実（経済的自立の支援、相談・指導体制の充実）

施策3 障害者福祉の充実

ボランティア組織の育成、誰にも優しい環境づくり、家族介護負担の軽減、機能訓練等の実施、生活安定化の促進

施策4 高齢者福祉の充実

施設整備の推進、介護保険サービスの充実、地域連絡体制の強化、村民意識の啓発

施策5 保健医療施策の充実

医療機関の充実、予防医療の充実、リハビリテーションの充実

施策6 国民健康保険の充実

保険税収納率の向上、医療費の適正化推進、保険事業の推進

歴史に学び人を育む文化の村づくり

施策1 学校教育の振興

幼稚園教育の振興（教育環境の整備、教育内容の充実、幼稚園と保育所の連携検討）

義務教育の振興（学校教育の充実、学習環境の整備、学校給食の充実）

施策2 生涯学習の振興

生涯学習内容の充実、生涯学習環境の整備、社会教育施設の整備

施策3 スポーツ・レクリエーションの振興

スポーツ・レクリエーション施設の整備、スポーツ・レクリエーション活動の充実、健康づくりの推進

施策4 地域文化の振興

文化財の保全・活用（文化財の保全、文化財の活用及び普及、資料館の整備推進）
地域文化の継承（地域文化の継承、文化継承・記録・編纂）

安全・安心な住みよい村づくり

施策1 道路の整備

広域ネットワークの整備、村内ネットワークの充実、道路環境の整備

施策2 港湾の整備

基盤整備の充実、村内ネットワークの充実

施策3 河川の整備

河川浄化対策、河川環境整備

施策4 水道の整備

水道施設の整備、水道事業の健全運営

施策5 下水道の整備

下水道施設の整備、公共水域の水質保全の啓発

施策6 集落排水路の整備

集落内雨水排水施設の整備

施策7 し尿・ごみ処理の推進

し尿処理の推進、ごみ処理の推進

施策8 火葬場の整備

火葬場の整備

施策9 消防・防災の推進

消防・救急の推進（火災予防の充実、国頭地区行政事務組合の機能強化、救急・救助体制の充実）
防災・交通安全・防犯対策の推進（災害対策、交通安全対策、防犯対策）

施策10 住宅地の整備・確保

村営住宅の整備、住宅地の整備促進

施策11 情報通信の整備

通信基盤の拡充、防災行政無線の整備拡充、情報産業の立地促進

総合計画の実現に向けて

施策1 行財政運営の拡充

行政運営の確立（行政組織の整備拡充、事務事業の電算化推進、行政改革の推進、役場庁舎の移転検討）

財政運営の確立（財政運営の効率化、自主財源の確保、公共施設等総合管理計画の策定）

施策2 広域行政の推進

広域的連携の推進

施策3 村民参加による村政の推進

村民参加の促進、各種団体の活動支援



大宜味村第5次総合計画【概要版】

発行年月：平成28年6月

企画・編集：大宜味村 企画観光課

〒905-1392 沖縄県国頭郡大宜味村字大兼久 157
TEL (0980) 44-3007 FAX (0980) 44-3029